

中国当局による本学会会員とみられる研究者の拘束に関するアジア政経学会理事（および元理事）有志の声明

10月21日の官房長官記者会見で取り上げられたとおり、本学会の会員とみられる研究者が中国側の招聘により研究交流に訪れた北京で、国内法違反を理由に拘束されたことが明らかとなりました。詳細な理由が公表されないまま研究者が拘束されることは、日中間の学術交流の継続と発展を脅かしかねません。われわれはこの研究者の無事と、一刻も早い帰国を強く希望しています。そして、今回の事態が今後の日中間の学術交流にいささかの影響も与えることのないよう強く願います。

阿古智子	阿南友亮	石塚迅	磯崎典世	遠藤環	大庭三枝
加茂具樹	川島真	小嶋華津子	佐藤百合	清水一史	鈴木隆
高橋伸夫	中岡まり	中溝和弥	益尾知佐子	松田康博	丸川知雄
三重野文晴	三宅康之	渡邊真理子			

2019年11月3日

中国当局によって拘束された本学会会員の「解放」に際してのアジア政経学会理事（および元理事）有志の声明

11月15日の官房長官談話などによって、中国当局により二ヶ月以上拘束されていた本学会の会員が「解放」され、無事に帰国したことが明らかとなりました。われわれは当該会員の「解放」を聞き、ひとまず安堵しました。しかし、今回の事件が日中間の学術交流に与えた深刻な影響は大きく、また事実関係が依然として詳らかになっていないこともあり、今後も同様の事態が繰り返されるかもしれないとの懸念は残ったままです。われわれは、いかなる場合でも学問の自由が妨げられることなく、それによって日中間の学術交流が実り豊かなものとなることを強く望みます。

2019年11月25日

アジア政経学会理事有志の声明

われわれは、アジア諸国、地域における学問・研究の自由の必要性を訴え、それに反する動向には強い憂慮の念を有することをここに表明する。

2020年9月5日